❶柱
学習面・行動面

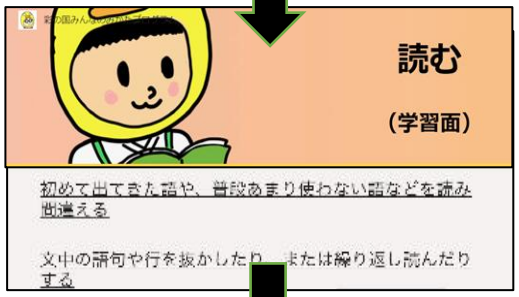
❷項目

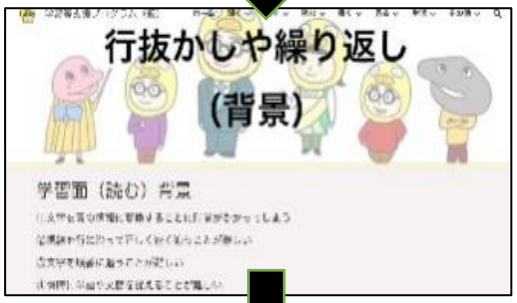
❸実態

❹背景要因

❺支援のポイント

支援策「あったらいいな」こんなサポート





印刷したものをこちらで折るとリーフレットになります

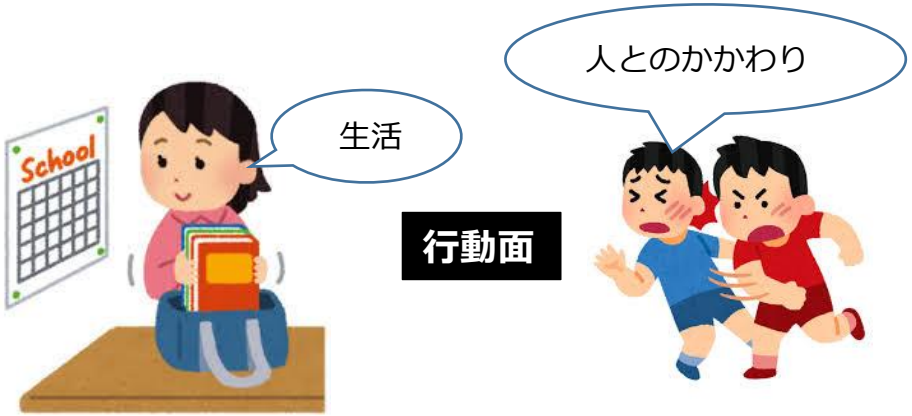
山折り

「彩の国みんなのみかたプログラム」って何だろう？

このプログラムは、児童生徒の「できた」「わかった」を増やします！　なぜなら、気になる内容をクリックしていくことで、教員が、児童生徒の学習面や行動面の特別なニーズについて、背景要因を踏まえた指導をすることができるからです。

↓URL はこちら
https://sites.google.com/st.spec.ed.jp/mikata2/

QR コード
はこちら→



❶柱 ➡ ❷項目 ➡ ❸実態 ➡ ❹背景要因 ➡ ❺支援のポイント 支援策

学習面	聞く	・聞き間違いがある（「知った」を「行った」と聞き違える）。
		・聞きもらしがある。
		・個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい。
		・指示の理解が難しい。
		・話し合いが難しい（話し合いの流れが理解できず、ついていけない）。
	話す	・適切な速さで話すことが難しい（たどたどしく話す。とても早口である）。
		・ことばにつまったりすることがある。
		・単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をしたりする。
		・思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい。
		・内容を分かりやすく伝えることが難しい。
	読む	・初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える。
		・文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読んだりする。
		・音読が遅い。
		・勝手読みがある（「いきました」を「いました」と読む）。
		・文章の要点を正しく読みとることが難しい。
	書く	・読みにくい字を書く（字の形や大きさが整っていない。まっすぐに書けない）。
		・独特の筆順で書く。
		・漢字の細かい部分を書き間違える。
		・句読点が抜けたり、正しく打つことができなかったりする。
		・限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない。
	見る	・文字や行を読み飛ばしてしまう。
		・どのように行動してよいかわからずキョロキョロしている。
		・物の全体像や細部がわからない。
		・周囲の状況が分からない。人の表情などが分からない、分かりにくい。
		・板書についていけない。
行動面	生活	・物の管理（落し物・忘れ物・整理整頓）が苦手である。
		・落ち着きがない、出歩きが目立つ。
		・課題または遊びの活動で注意を集中し続けることが難しい。
		・指示通りの行動、周囲に合わせた行動をすることが難しい。
		・気持ちの切り替え、自分をコントロールすることが苦手である。
	人とのかかわり	・友だちとのトラブルが多い。
		・相手の気持ちを考えることが苦手である。
		・話を最後まで聞くことが苦手である。
		・言葉をうまく使えない。
		・ルールを守って行動することが苦手である。

例

① 文字を音の情報に変換することに時間がかかってしまう。
② 視線を行に沿って正しく速く追うことが難しい。
③ 文字を順番に追うことが難しい。
④・・・・・・
⑤・・・・・・

ポイント **必ず背景景因を確認してから支援策に行きます。**

↓QR コードはこちら

↓URL はこちら

https://sites.google.com/st.spec.ed.jp/mikata2/

例 **支援のポイント**

発表の際にはあらかじめ練習ができるようにして、読みやすい文章が当たるように配慮する。

例 **支援策「あったらいいなこんなサポート」**

・読みやすく分かりやすくなるように、文字を大きくしたり、短い文を用意したりする。
・デジタル教科書やデイジー教科書等の活用をする。

具体例（動画等もあります）

目のたいそう